

NEW GLOOBE Model Viewer

GLOOBEで設計したBIM建物モデルや属性情報を建物のオーナーや関係者と共有できる無償アプリです。
BIMソフトをお持ちでない方も「GLOOBE Model Viewer」を使って閲覧が可能です。

▼WEBより無償でダウンロードできます。
GLOOBE Model Viewer

GLOOBE Construction 対応!

・施工段階も利用できるViewerに進化

BIM-FM 連携の進化!

・施設台帳管理 FINE-WEBS に加えて、
統合FMプラットフォーム「FM-Integration」への
連携が可能に



※1 GLOOBEと[FINE-WEBS] [FM-Integration]との連携には、御FMシステムの[FINE-WEBS] [FM-Integration]とGLOOBEオプションプログラム[FM 連携]が必要です。
※2 各種台帳と[GLOOBE Model Viewer]との連携には、ビューワーアプリ[GLOOBE Model Viewer]と御FMシステムの[FINE-WEBS] [FM-Integration]、インターネットの接続環境が必要です。

GLOOBEをWEBで詳しくご紹介しています。 <https://archi.fukuicompu.co.jp/products/gloobe>

〈製品詳細〉

GLOOBE 福井コンピュータアーキテクト



〈動画で解説!〉

GLOOBE 体感動画デモ



〈30日間無料体験版〉

GLOOBE 体験版



GLOOBE (2020年11月最新版動作環境)

□OS	Windows 10/Windows 8.1 (推奨 Windows 10(64bit)) ※[GLOOBE Construction][GLOOBE V-style]は64bit版プログラムのみとなります。 32bit版OSでは動作しません。 ※[GLOOBE V-style]はWindows10 64bit版以外では動作保障していません。	□VIDEO	DirectX 11.0 対応グラフィックカード ※オプションプログラム[ARCHITREND リアルウォーカー]:OpenGL 3.0, DirectX 10.0 以上
□CPU	Core i7以上 ※CPUは、intel社製に限ります。	□VIDEOメモリ	1.0GB以上 ※大規模モデル、複雑なモデルを扱う場合は 2.0GB以上を推奨 (推奨グラフィックカード:nVIDIA社製 Geforce GTX 750シリーズ以上、Quadro P2000 以上、AMD社製 RADEON RX 460シリーズ以上、[ARCHITREND リアルウォーカー] については、AMD社製 RADEON系グラフィックカードは動作対象外です。) ※[GLOOBE V-style]は6.0GB以上を推奨 (推奨グラフィックカード:nVIDIA社製 Geforce GTX 1080以上、Geforce RTX 2070以上)
□必要メモリ	8.0GB以上 (推奨16.0GB以上)	□その他	Internet Explorer 11
□必要HDD容量	3.0GB (推奨5.0GB以上) ※データの大きさや必要構成により異なります。		
□必要解像度	1280×1024以上推奨		

※プログラムのインストール時にDVD-ROMドライブまたはネットワーク環境などのDVD-ROMを認識できる環境が必要です。
※プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。
※動作確認テストは、動作環境で行っております。仮想マシン上での動作は保証外です。
※上記動作環境は2020年11月現在のものです。動作環境は予告なく変更する場合があります。商品により動作環境が異なる場合があります。製品に関するお問合せは福井コンピュータグループ総合案内までお願いします。

福井コンピュータアーキテクト株式会社

本社 / 〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

[福井コンピュータグループ総合案内]

0570-039-291

<https://archi.fukuicompu.co.jp>

※GLOOBEは福井コンピュータホールディングス株式会社の登録商標です。その他記載されている社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
※本カタログに掲載されているSGG/バスシステムは、一部DATA STATIONの派生データを使用しています。
※本カタログの画面キャプチャーに使用されている一部のデータは、勤務建築事務所株式会社、株式会社興材村、加和太建設株式会社、共立建設株式会社、株式会社海池組、株式会社コンパシ建築工房、スミリンケアライフ株式会社より提供いただいたものです。
※当社約款については、こちら (<https://hd.fukuicompu.co.jp/policy/index.html>) をご確認ください。



福井コンピュータグループでは、知的財産権の保護を目的とし、ACCS(一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会)による著作権保護・違法コピー撲滅のための活動に参加し、ソフトウェアの著作権問題に積極的に取り組んでおります。詳しくは福井コンピュータグループホームページ (<https://www.fukuicompu.co.jp>) またはACCSホームページ (<http://www.2accs.jp/>) をご覧ください。

2020年11月現在

日本の建築は、
日本のBIMが繋ぐ。

設計・施工からFM・維持管理までのプロセスを
BIMデータでつなげるプラットフォームを実現!

設計

施工

BIM FM

日本の建築は、日本のBIMが繋ぐ。

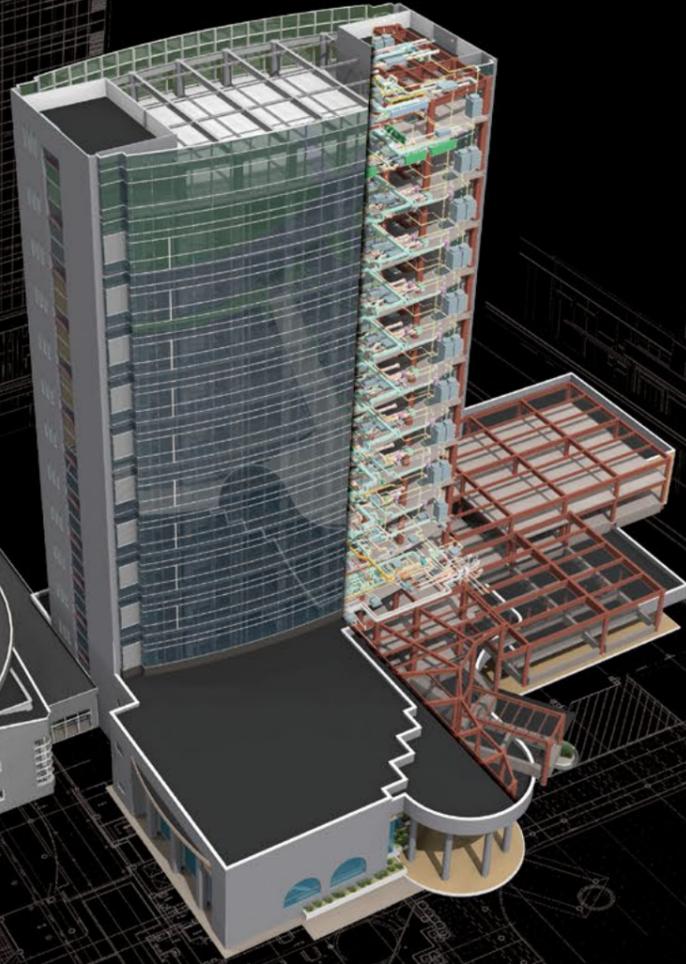
企画・設計・施工からFM・維持管理までの一連のプロセスをBIMデータでつなげるプラットフォームを実現！

GLOOBEシリーズでのシームレスなデータ連携により、BIMのトータル マネジメントを実現。設計BIM・施工BIM・BIMFMのモデルデータを繋ぎ、BIMの課題である「データの断絶」を克服し、各工程の短縮化と大幅な業務効率化を支援します。

最適な“デザイン”をモデル化する 設計BIM

GLOOBE Architect

豊富な日本仕様の建材データや自由度の高いデザイン機能、基本設計を元にした実施設計、建築基準法に沿った法規チェック等、日本の設計に最適化された機能を搭載した設計BIMのArchitect。



NEW

安全・効率をモデルで徹底追及する

施工BIM

GLOOBE Construction

最小マウスクリックとリアルな3D表現で安全で効率的な仮設計画、現場や建物に応じた合理的で効率的な土工計画、ICT建機への連携等、幅広い活用と次世代施工を支援する施工BIMのConstruction。



建築基準法対応

逆日影斜線計算・逆天空アシスト・各種斜線計算・天空率・各種日影計算・平均地盤算定・採光・換気・排煙などにより、企画設計から確認申請図作成まで対応しています。

多彩なデータ連携

国際規格の「IFC」や日本の構造規格の「STB」などの連携フォーマットにより、意匠データ、FMデータと高精度な連携ができます。

● 基本計画・基本設計

- ・コンセプトデザイン
- ・平面図
- ・立面図
- ・配置図
- ・概算見積
- ・高品質レンダリングCG
- ・PDF取込アシスト
- 〈PDF取込アシスト〉*

● 法規チェック

- ・日影
- ・天空図
- ・建蔽率
- ・容積率
- ・採光・換気・排煙計算
- 〈法規チェック〉*

● プレゼンテーション

- ・高品質CG・レタッチ
- 〈GLOOBE V-style〉*
- 〈“P-style” for GLOOBE〉*
- ・ウォークスルー
- 〈ARCHITREND リアルウォーカー〉*
- ・ビューワー
- 〈GLOOBE Model Viewer出力〉
- ・VR (GLOOBE VR)*
- ・建材シミュレーションサイト
- 3Dカタログ.com*1

GLOOBEの特長

高品質な自動作図機能

実施設計図面、法規関連図面をモデルデータから自動作成するため、整合性のとれた日本の規格にあった高品質な図面が描けます。

スムーズなモデリング

日本の規格に沿った、仕上げやフカンなど、ラフなモデルから詳細まで、設計の進捗に応じて悩まずに作成できます。

● 実施設計

- ・平面詳細図
- ・矩計図
- ・展開図
- ・部分詳細図
- ・建具表
- ・仕上表
- 〈実施設計〉*

● 施工計画

- ・見上図
- ・見下図
- ・基礎伏図
- ・屋上伏図
- ・底盤伏図
- ・杭伏図
- ・断面図
- 〈躯体図出力〉*
- ・仮設計画
- ・土工計画

● データ連携

- ・2Dデータ
- ・3Dデータ
- ・企画設計
- ・省エネ計算
- ・環境解析
- ・設備設計
- ・構造設計
- ・積算
- ・施工

● FM連携

- ・維持管理
- 〈FM連携〉*

() *はオプションプログラムです。*1は専用の個別契約が必要となります。*画像はイメージです。

NEW 2021 新機能紹介

■主要構造部耐火性能編集 耐火時間を色分け表示

階毎に一括設定を行うことで、個別の設定漏れを防ぐことが可能になり、編集の省力化が図れます。IFC/STBファイルで読み込んだBIMデータにも有効です。



耐火時間を色分け表示



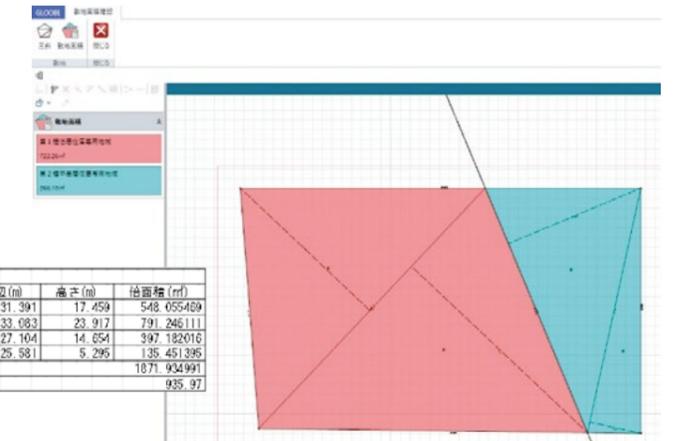
確認申請フロントローディングを促進。

日本のBIMたるGLOBEが有する「建築基準法インフォメーション」を追求し、確認申請機能のさらなる強化を目指しました。

■用途地域ごとの三斜分割

「申請面積」-「敷地面積確認」コマンドで、用途地域ごとの三斜区画分割に対応。用途地域ごとに敷地面積算定の根拠・計算式を表示します。

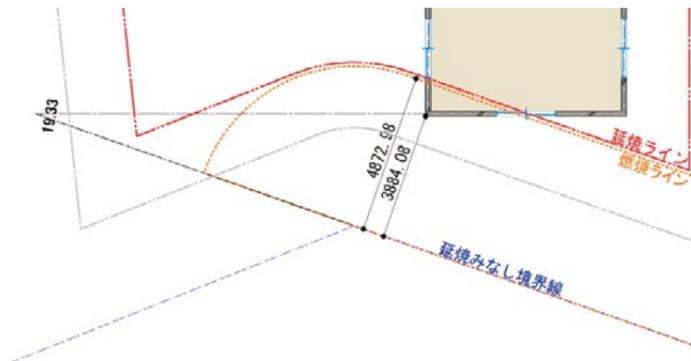
敷地面積表	用途地域	符号	幅員 (m)	高さ (m)	積算積 (㎡)	積算積 (㎡)	積算積 (㎡)	積算積 (㎡)
第1種低層住居専用地域	1		31.391	17.459	548.055469			
	2		33.083	23.917	791.246111			
		積算積小計 (㎡)			1339.301580			
第2種中高層住居専用地域	3		27.104	14.654	397.182016			
	4		25.581	5.295	135.451395			
	積算積小計 (㎡)				532.633411			
	敷地面積小計 (㎡)				265.32			
		積算積小計 (㎡)			935.97			
		積算積小計 (㎡)			1871.934991			
		敷地面積 (㎡)			935.97			



■燃焼するおそれのない部分への対応

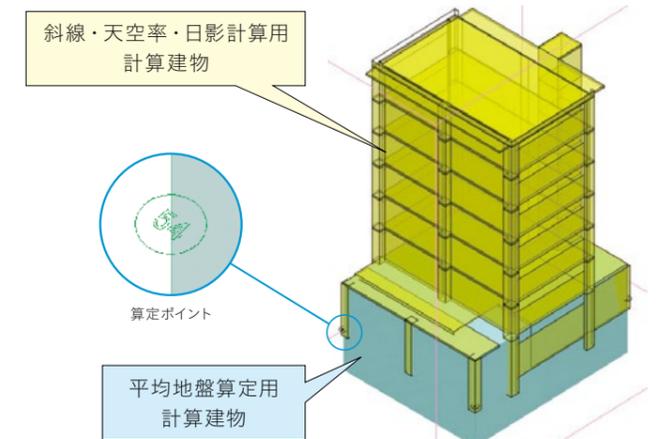
「延焼部分」タブ-「性能編集」コマンドや、新規追加の「主要構造部耐火性能編集」コマンドなどで、延焼ライン参照領域に緩和(除外部分)を適用できます。

※令和2年国土交通省告示第197号



■平均地盤算定建物

日影算定用と平均地盤算定用に計算建物を分けることで、ユーザーが求める算定ポイントの作成に対応。また、建物モデルとの差異を確認しやすくなるよう、算定ポイントの3D表示に対応。



■容積率不算入緩和項目追加・確認申請ツール反映

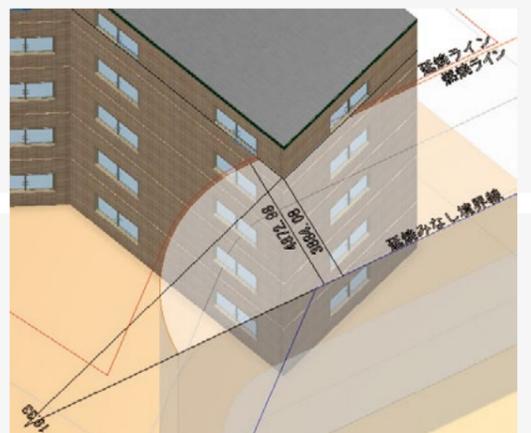
容積率判定の強化として、容積率不算入対象の緩和区分を追加し、容積率算定延べ面積の自動計算に対応。また、申請書作成ツール*の容積率不算入対象面積の反映にも対応し、手動で入力する手間を軽減します。



*「申請書作成ツール」とは、確認申請時に必要な書類作成を簡便に行えるよう、指定確認検査機関 日本ERI株式会社 が作成したツールです。日本ERIの無料会員サイト「@ERI倶楽部 (https://club.j-eri.jp/club/downloads)」からダウンロード可能です。

■角度寸法コマンド

建築物の外壁面と延焼みなし境界線上の線分を指定し、延焼みなし境界線と当該建築物の部分が水平方向においてなす角度の寸法線(θ)および寸法補助線を作成。



■燃焼ラインコマンド

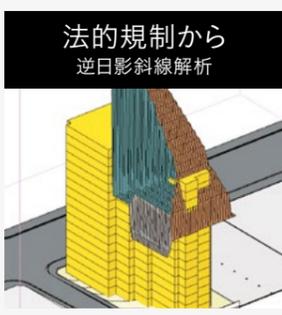
1つの延焼みなし境界線分に対して、1階/2階以上の燃焼ラインを登録。ただし、2階以上で角度寸法線の入力が無かった場合、2階以上の燃焼ラインは作成しない。1階の燃焼ライン立体はGL~2階 FL、2階以上は2階 FL~緩和高さ (or 最高階高+2m)。

基本計画・基本設計

どこからでも自由に、あなた自身の設計手法で。

日本では、一般的に建物用途や業態により設計手法は異なっています。特に基本計画の「入口」は千差万別です。GLOBEは、ユーザの設計スタイルに柔軟に対応できるように、様々な設計アプローチに対応することができます。

法的規制から 逆日影斜線解析



マンションなど、法規制の中で最大ボリュームを取ることが重要なプロジェクトでは、逆日影・斜線計算から、メッシュ状の鳥かごやブロックモデルによるボリューム検討から、計画を開始できます。

■逆日影計算を基にモデル作成

逆日影で算出した等高線や計算建物から平面計画。そこから立体を作り3Dでスペースや鳥かご干渉チェックも。

■地盤算定も自動で

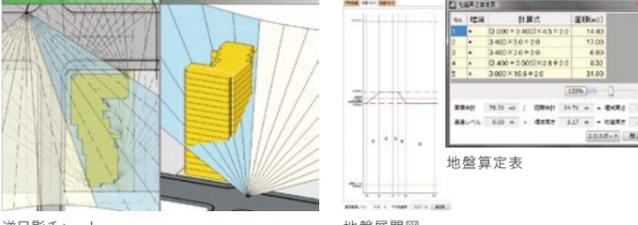
地盤と建物が接する高さをチェックし、地盤面と平均地盤面の高さを自動算出。高低差3m以上の地盤算定にも対応。

■容積率はいつでも確認可能

容積率は作業中いつでも確認可能。オーバー時は3Dモデルから簡単に削除でき、設計者の思考の流れを妨げません。

■日影計算・地盤算定

与条件を設定して、各種日影図を作成します。建物ボリューム・高さの検討と同時に平均地盤面の計算を行い、地盤算定図・表の作成を行います。



逆日影チャート

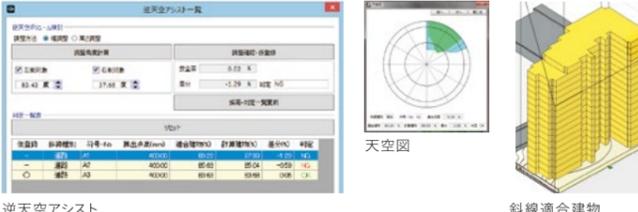
地盤算定表

階	高さ	容積率	容積
1	3.400×10.0×2.0	13.00	44.20
2	3.400×10.0×2.0	8.00	27.20
3	3.400×10.0×2.0	8.00	27.20
4	3.400×10.0×2.0	8.00	27.20
5	3.400×10.0×2.0	21.00	71.40
合計			137.00

地盤展開図

■天空率・逆天空

日影計算と同時に天空率によるボリュームチェックを行います。さらに、天空率判定NGポイントに対して計画建物を自動調整して天空率をクリアするシミュレーション機能も実装しています。



逆天空アシスト

斜線適合建物

天空図

単線プランから 建物の空間配列から設計

ブロックプランやゾーン計画を重視したいプロジェクトでは、室名や専用ゾーン・共用ゾーンなどの空間情報を持ったオブジェクトを使い、シングルラインプランから計画を開始できます。



■自然な流れでゾーン計画

スケッチ感覚でスペースを入力し、大まかに機能を割付け素早くゾーン計画。ダイアグラムも立体的に確認できます。

■粗から密へ自然な流れで設計

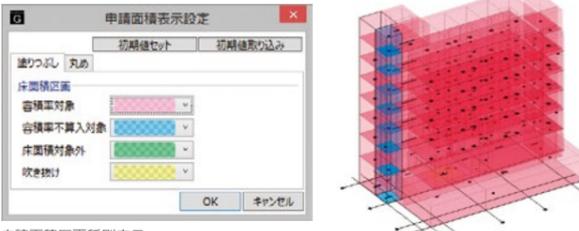
最初は細かく決め込まず、大まかに作ったゾーン計画を修正しつつ徐々に作り込む。「粗」から「密」へ設計できます。

■ゾーン別の占有率をチェック

商業施設におけるレンタル比やマンションの住戸面積の占有率をチェックしながら、効率的に平面計画を詰めていくことができます。

■確認申請との連携

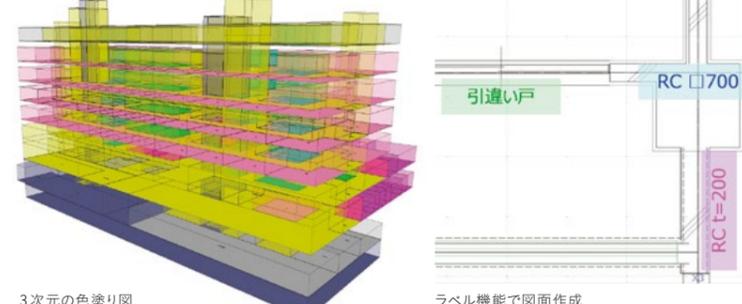
申請面積専用の入力/確認ステージをご用意しました。モデル入力の段階で、階数と高さの判定、容積率/建蔽率の判定が行えます。



申請面積区画種別表示

■凡例機能・ラベル機能

図面上・立体上で部材を色分け表示をして属性情報を可視化します。同様に部材の属性情報を文字列として図面上に表示します。可視化した属性情報の確認・編集を繰り返しながら、建物設計の精度を向上させていきます。



3次元の色塗り図

ラベル機能で図面作成

厚みの違う壁や大きさの違う柱など、属性情報を省略記号で表します。凡例省略記号は建物モデル上や図面上に作図でき、一括塗りつぶしを使った凡例表現が可能です。



凡例省略記号

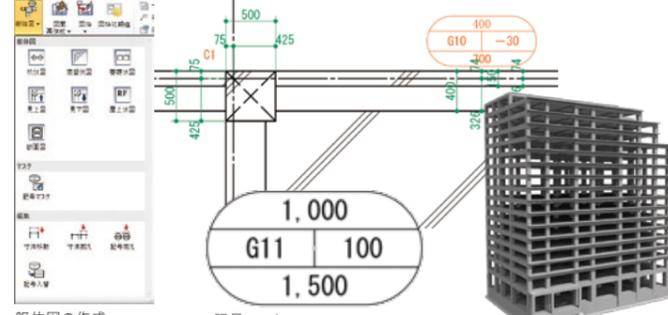
凡例一括塗りつぶし

■躯体図出力

GLOBEのモデル情報から、見上図・見下図・屋上伏図・基礎伏図・杭伏図・底盤伏図・断面図などの躯体図を自動作成して、施工段階におけるGLOBE利用を促進します。

記号マスタは編集ダイアログを用意し、部材種別ごとに記号を登録/編集します。

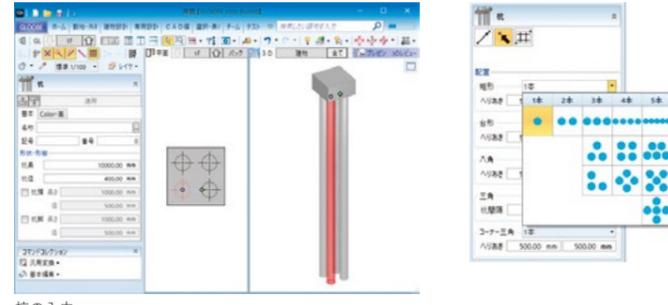
杭、異厚フカシ仕上入力など新規オブジェクトを用意し、IFCファイル形式でJ-BIM施工図CAD*との連携が可能です。



躯体図の作成

記号マスタ

*福井コンピュータアーキテクト製 施工図作成システム「J-BIM施工図CAD 2019」以降



杭の入力

基本計画・基本設計

緻密な計画が手戻りをなくす。

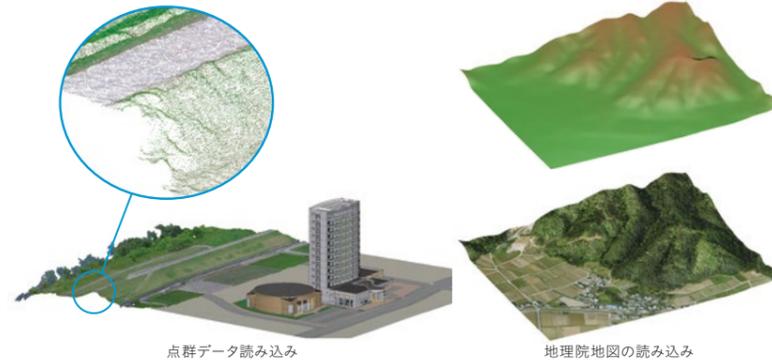
基本設計時に構造の検討や法的区画の考慮、数量集計から概算見積もりなどが行えます。

GLOBEの基本設計は常に法規やコストを睨みながら行うことで、実施設計での手戻りを最小限に留めることができます。

■点群・地理院地図

点群や地理院地図※の読み込みで、リアルな景観を表現できます。
周辺地形を考慮した様々な検討やプレゼンテーションが行えます。

※点群とは、3次元計測で取得された、コンピュータ上で扱える点の集合です。
※地理院地図とは、地形図、写真、標高、地形分類、災害情報など、国土地理院が発信するウェブ地図です。



点群データ読み込み

地理院地図の読み込み

■オブジェクトリスト

すべての配置部材の属性情報、参考集計値を一覧表形式で表示します。属性情報は一覧表上のセル操作によって一括して編集します。一覧情報をエクセルファイルやデータベースファイルに出力して情報の2次利用を行います。

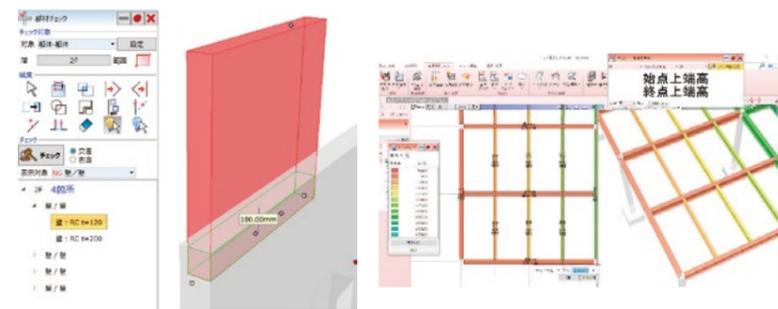


オブジェクトリストと3Dモデルが連動

■データチェック+レベルチェック

部材の重複や隙間、躯体と開口部の離れなどの設計上の不具合をチェック検出して画面上に表示します。

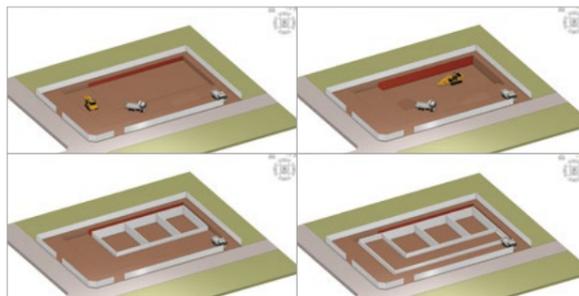
また、スラブ上端、梁上端の高さの違いを色分けしてレベルチェックが行えます。
該当箇所を平面的・立体的に確認しながら、正確なデータ作成が可能となります。



不具合箇所を平面・立体で確認しながら、データ修正可能 高さの違いを色付け

■4Dシミュレーション

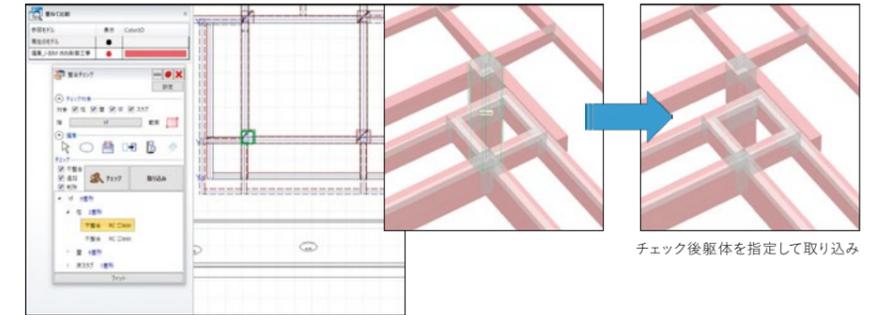
施工シミュレーションの応用として、各部材に作業区分、日付情報を付加して、進捗に応じた部材表示を可能にします。設計内容の説明や、作業工程の確認に利用できます。



■モデル比較整合チェック

GLOBEのモデル(意匠)と構造モデル(ST-Bridge)・施工モデル(IFC)のデータを重ね合わせ、「柱、壁、梁、スラブ」の躯体データの不整合がチェックできます。

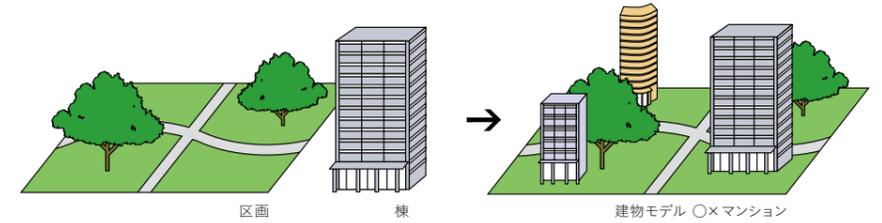
範囲でのチェック、躯体を指定しての取り込みなども可能です。



チェック後躯体を指定して取り込み

■モデルリンク・モデル統合

大規模プロジェクトでは、チーム設計機能を使って大規模設計を行います。棟別モデルを作成、「外部参照」機能を使って棟別モデルをプロジェクト全体の建物モデルとして統合します。



各種計算・図面

基本設計段階で必要な面積計算や法的計算に対応しています。これらの自動計算機能と自動図面作成により、作業効率が大幅に向上します。



■面積求積図・求積表
床面積や舗装面積など求積図を自動作成し、求積表では円弧も含め根拠式の自動化も対応しています。

■基本設計図
カラーの平面図や立面図・断面図など、提案に必要な図面をモデルデータから自動作成します。

■概算数量
入力している部材数量を集計してエクセルに出力します。概算コストを簡単に算出することができます。

自動作図図面一覧

GLOBE Architect

求積図

敷地求積図・表
建築面積求積図・表
延床面積求積図・表
領域面積求積図・表

申請図

地盤算定図・表
時刻日影図
等時間日影図
指定点日影図
斜線図・表
天空図
天空率算定表
天空率アイソメ図
採光換気排煙図・表

一般図

配置図
平面図
立面図
断面図
天井伏図

実施図

平面詳細図
矩計図
展開図
内部外部仕上表
建具カープラン
建具表

躯体図

見上図
見下図
基礎伏図
屋上伏図
底盤伏図
杭伏図
断面図

GLOBE Construction

仮設図

平面図
立面図

土工図

総合図
断面図
構台伏図
構台立面図

基本設計

緻密な計画が手戻りをなくす。

基本設計時に構造の検討や法的区画の考慮、数量集計から概算見積もりなどが行えます。

GLOBEの基本設計は常に法規やコストを睨みながら行うことで、実施設計での手戻りを最小限に留めることができます。

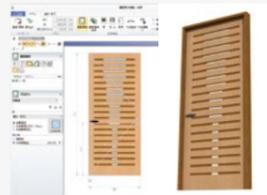
オブジェクトデザイン

GLOBEは、BIMによる建築設計をするために必要なツールを豊富に標準搭載しています。初めて触れる方でも、迷わずにこれらを駆使して、プレゼンデータから図面まで作成することができます。



■セットバック

柱や壁・カーテンウォールを折ったり曲げたり、イメージを確認しながら自在にデザインできます。



■建具編集

凝ったデザインの建具も姿図を描くような操作で、そのまま3Dデータにも、図面にもなります。



■汎用オブジェクト

オリジナル家具などの3D部品も、自由にデザインできる機能を搭載しています。

■多彩な建具表現

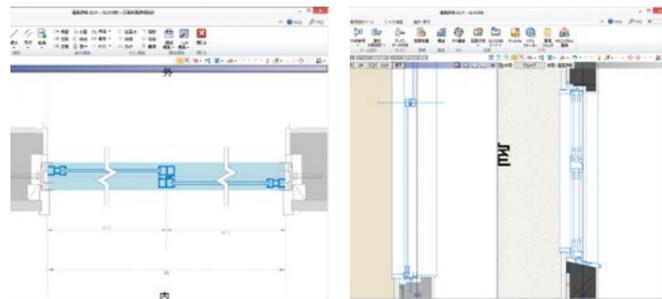
内側と外側で異なる建具の作成ができ、各面毎に絵柄の編集が可能です。簡単に素材を貼りつけオリジナルの建具が作成できます。



画像ファイルを使った建具デザイン

■建具拡張

建具の詳細表現を作成します。無目方立の立体形状、扉・障子の平面表現をカスタマイズして、詳細な立体表現・図面表現を行います。



■建具仕様設計

配置建具に条件を与えて建具符号を自動付番します。符号付き建具を建具表に登録して、建具絵柄・属性情報を一括して編集します。設計後、建具表に登録した建具情報から建具キープラン・建具表を自動作成します。



建具設計の専用ステージ

■仕上仕様計画

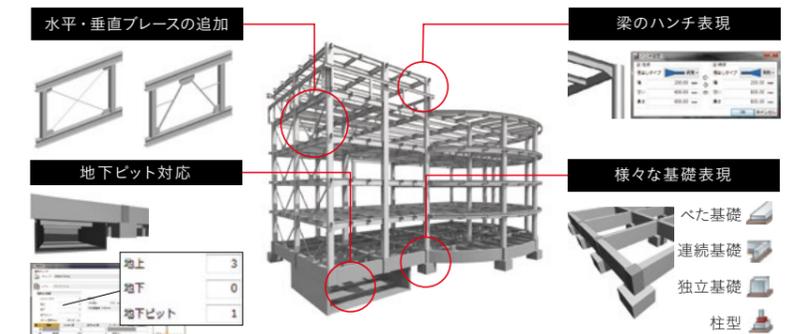
室別の仕上情報(床・壁・天井・巾木・廻縁)から仕上材材を一括配置します。仕上材材の配置により図面詳細表現、立体表現の精度が向上します。設計後、仕上材材の情報を集約・編集して仕上表を自動作成します。



仕上表と3Dモデルが連動

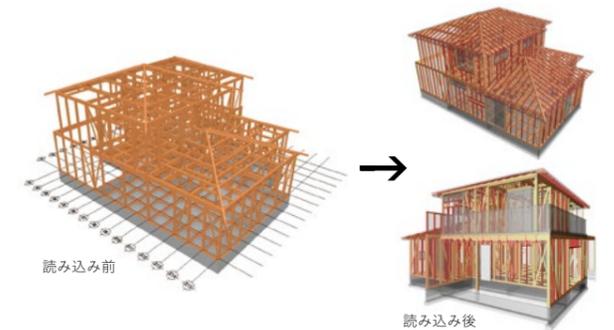
■構造材の表現

柱・梁・壁・スラブ・ブレース・基礎部材、ファシ・増し打ち、現場施工の断熱材の入力・編集を行います。構造躯体のリアルな平面表現・立体表現を行い、意匠部材との取り合い確認、図面作成、プレゼン作成を行います。



■プレカットCADデータ読み込み

プレカットCADで作成した木造構造図を、CEDXM (シーデクセマ)形式で読み込みます。意匠設計図と統合し、現場監理用データとして将来にわたって活用できます。



■ユニット

モデル内で繰り返し配置される要素をまとめてモジュール化。モデル内部で参照するデータのため、データ量を抑えることができ、管理が容易です。ユニット配置後にユニットデータを変更することで、配置済みの全てのデータに反映され、数量や面積なども把握できるため、設計効率の向上につながります。



実施設計

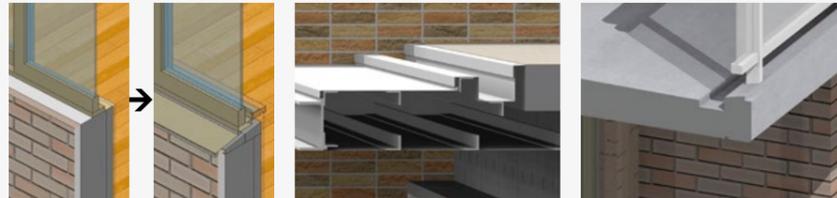
精巧・緻密な表現を圧倒的なスピードで。

基本設計モデルデータをもとに詳細図を生成させるため、図面間の整合性にも狂いが生じません。

GLOBEが自動処理する高精度な図面再現力によって設計者の負担を軽減し有効な時間確保に繋がります。

ディテール

建具納りや軒先の断面形状など、設計者こだわりのディテールを「自由に」「高精度に」作成でき、そのディテールは3次元にも図面にも正確に表示されます。



■建具外枠割付け

一般的な建具納り形状を幅広くテンプレートに搭載。ワンタッチで、目的のディテールを表現できます。

■オブジェクト断面形状

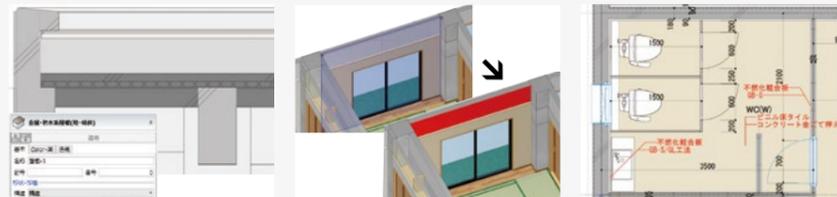
水切りや笠木などの断面形状と納りを、2次元的に描くことで詳細な3Dと図面を作成できます。

■躯体端部

RC手摺壁の天端や、バルコニスラブ先端の排水溝などの詳細な設計形状を自由に作成できます。

詳細仕様の設計

屋根の防水や躯体の断面構成、仕上下地のボード張りの工法など、詳細な仕様を自由に作成でき、図面表現や引出線・仕上表と連動するため、正確性や設計スピードが大幅に向上します。



■複層構成オブジェクト

壁の乾式耐火認定壁や屋根の防水構成など、詳細な仕様構成も簡単な操作で作成できます。

■フカシ・断熱材

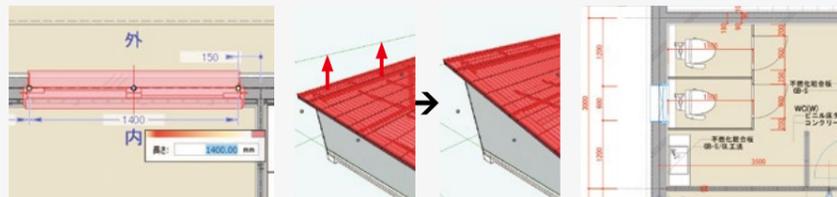
躯体に対するフカシや断熱材は、設計の進捗に応じて必要な時に簡単にセットできます。

■詳細図引出線

仕上などのオブジェクト属性と連動した引出線を自動作成するため、引出線内容の記載ミスがありません。

設計寸法の調整

寸法や天井高、屋根勾配など、オブジェクト情報を変更するだけで、データは自動的に編集されるため、設計寸法の調整や設計変更の労力から大幅に解放されます。



■補助寸法編集

建具幅や壁スパンの変更は、そのデータをクリックして寸法値を変更するだけで簡単に編集できます。

■オブジェクト追従処理

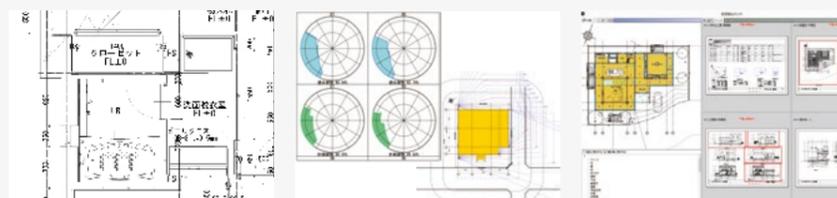
補助寸法編集や屋根勾配などを変更することで、それらに関連するオブジェクトも追従して変更されます。

■詳細図寸法線

建具幅や壁厚などのオブジェクトと連動する寸法線を自動作成するため、寸法の食い違いがありません。

高精度の図面

実施設計に必要な各種図面や、確認申請に必要な日影図などの法的な図面を、モデルデータから自動生成し、変更も自動更新されるため、設計スピードを飛躍的に高めます。



■実施設計図面

モデルデータから図面を自動作成するため、整合性のとれた実施設計図面が効率的に作成できます。

■法規関連図

日影図や天空図など、確認申請に必要な法的関連図面をモデルデータから自動作成します。

■図面整合チェック

モデルデータの設計変更内容を作成済の図面に一括更新できるため、常に図面の整合を確保できます。

■詳細設計

壁は躯体壁・間仕切り壁、フカシ・増し打ち・断熱材、複合壁・2重壁、内部外部壁仕上げを使って詳細表現を作成します。建具は建具種別、建具絵柄、外枠形状断面、区画断面を使って詳細表現を作成します。階段は段タイプ、段表・段裏の仕上・下地、ささら桁タイプ、導線・切断線編集で詳細表現を作成します。



壁の構成 (躯体、フカシ、断熱、2重壁、内外仕上)

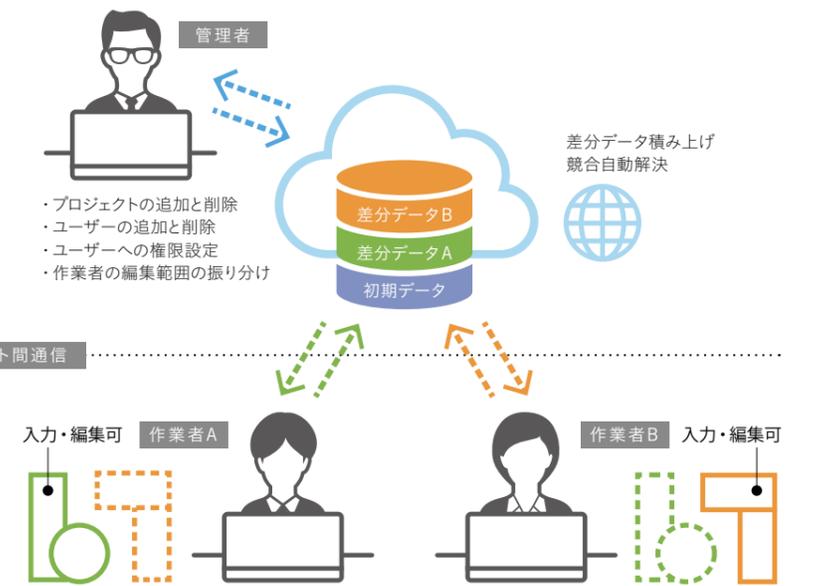
建具平面・断面・3D

階段断面・3D

■クラウド対応チームシステム

複数のメンバーが同じプロジェクトに対して作業が行えるチームシステムが標準搭載されています。

事業所間・協会の垣根を越えて設計作業が行えます。



最適な“デザイン”をモデル化する

GLOBE Architect

FM連携

FM情報の割り当て（マイニング）に必要なIDを各オブジェクトに自動割り当てすることで、ファシリティマネジメントの作業時間を短縮でき、中長期修繕計画の検討を容易にします。

設計出力サンプル

GLOBE-FM

■GLOBEの建物モデル情報には、FMの建物管理情報が紐づけ可能

- ・BIMの建物モデル情報にFM分類項目（大・中・小）を付加できます。
- ・ルールに従い自動でFM分類項目を割り当てることができます（マイニング）。
- ・オブジェクトの部材を自動でマージ（統合）します（外建て・内建ての区別など）。
- ・一つのオブジェクトに複数のFM分類項目を割り当てられます。
- ・修繕/点検/清掃/運転監視/警備のFM分類項目を割り当て検討ができます。
- ・FM分類項目を割り当て済みか未処理の状態かを建物モデルを見ながら管理でき、割り当て忘れを防止できます。

■FM分類項目の割り当て（マイニング機能）

BIMの情報

FMの分類項目

自動マイニングで割り当て

マイニング処理済み・未処理の確認が一目瞭然

※マイニングにはFM分類用のマスタが必要になります

BIMオブジェクト

- FM分類（修繕）
- FM分類（点検）
- FM分類（清掃）

1つのBIMオブジェクトに対し、複数のFM分類を登録できます。

■FM専用ソフトとの連携

FUKUI COMPUTER

GLOBE

数量・位置情報

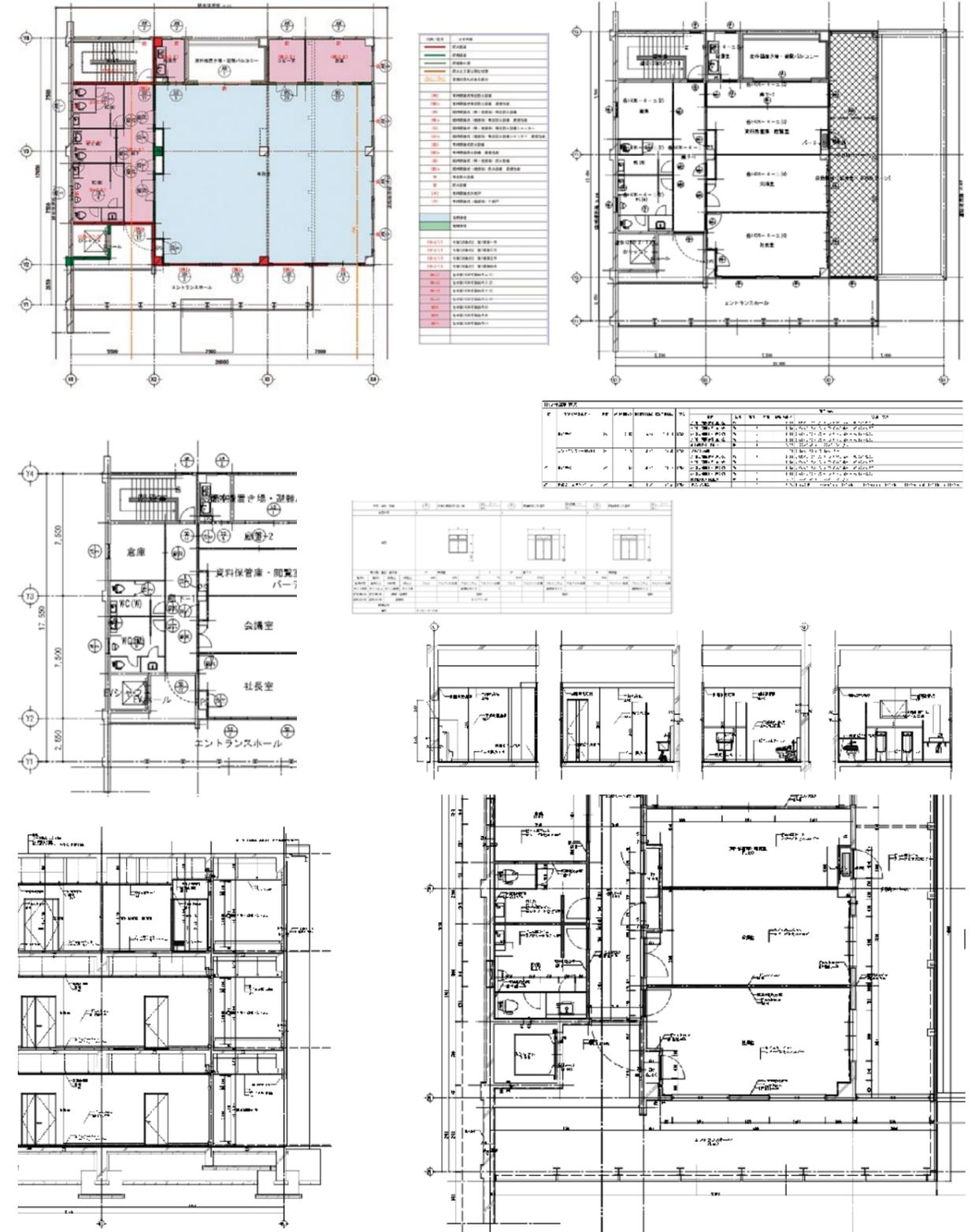
fm system 株式会社フクイシステム

FM

- 中長期修繕計画
- 施設台帳
- 点検管理
- FM-Refine
- FINE-WEBS
- FM-Integration

周期・単価・係数

マイニング済みのBIMモデルからのFM専用ソフトへ連携することで、中長期修繕計画の自動作成、施設台帳の自動作成を可能にし、各種の資料作成時間を大幅に短縮します。



最適な“デザイン”をモデル化する

GLOOBE Architect

プレゼンテーション

設計意図を的確に伝える多彩なプレゼン手法。

計画・設計段階で生成した3D建築モデルを活用し、GLOOBEは素早く簡単に、高品質な3次元CGを作り出します。さまざまな演出で、誰でも、設計者の意図を的確に伝えるインパクトのあるプレゼンを行えます。

■高品位レンダリングでハイレベルなCGパース作成も素早く簡単に

天空光やアンビエントオクルージョンなど最新のレンダリング機能を搭載。レンダリング時間の大幅短縮で、素早く高品質の3DCGパースが作成可能。また複雑な設定をしなくても、「あおり補正」機能で建物の垂直部分を強調した迫力のあるパースが作成できます。



アンビエントオクルージョン

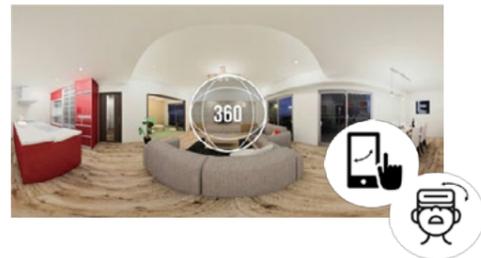


あおり補正で迫力のあるCGが簡単に作成可能

■パノラマで細部まで美しく、簡易VRも手軽に

GLOOBEのプレゼンからレンダリングでパノラマ画像を出力することで、iPadやスマートフォンなどを活用したパノラマプレゼンが行えます。

ヘッドギアにスマホを取り付けて、スマホVRビューが楽しめます。



■ワンタッチで様々なシーンを再現「P-style for GLOOBE」

GLOOBEで作成したパースや図面は、ワンタッチで様々なシーンの再現が可能。添景パーツの配置、四季の変化、夜景、手描き風仕上げなど、時間のかかる処理や表現の難しい演出もスピーディに行うことができ、圧倒的な作業効率の向上と、インパクトある“魅せるプレゼン”を実現します。



春/マーカー仕上げ 植栽や人物など添景パーツを配置



立面図/色鉛筆風仕上げ



夜景 窓の灯の調節も簡単に



平面図/オールドセピア風仕上げ

■高品質ウォークスルーをスピーディーに「ARCHITREND リアルウォーカー」

GLOOBEで作成したモデルデータがダイレクトに連動し、高品質でリアルなウォークスルーや天候シミュレーション、部材の検討などがその場ですぐに行えます。様々な動画ファイル形式への変換も可能でiPad等での幅広い活用が可能です。



晴・雨など天候別にシミュレーション

建材情報を確認・その場で張替可能

■汎用3Dデータ出力

プレゼンステージにおいて、3Dモデルを各種の汎用3Dデータ形式で出力します。

(XV3/3DS/STL/SKP/DWG/DXF/DAE/U3D/FBX/PDF)



NEW

■最新のレンダリングエンジン「V-Ray®」搭載「GLOOBE V-style」

空気感のある雰囲気や細かいディテール演出などのフォトリアル品質と簡便な操作性を両立して、どなたでも訴求力の高いビジュアルライゼーションが実現できます。

※V-RayとはChaos Software Ltd(本社:ブルガリア)が開発した高性能レンダラー。非常に高速なフォトリアル品質のレンダリング処理が可能で、世界中の映画・建築などのプロユースで高いシェアを誇る。
※プログラムの起動にはGLOOBE Architect基本 (GLOOBE2021)が必要です。



GLOOBE V-style

■入って、歩いて、空間体感「GLOOBE VR」

ヘッドマウントを装着すると、そこにはVR空間が広がります。

GLOOBEで作成したモデルデータが、そのままバーチャルイメージとして視覚的に体感できます。

関係者との打ち合わせから建物オーナーへのプレゼン、技術者教育など様々な活用が可能です。



バーチャル空間体感システム GLOOBE VR



■クラウドでいつでもどこでもプレゼン&データ閲覧「プレゼンデータ共有サービス ARCHI Box」

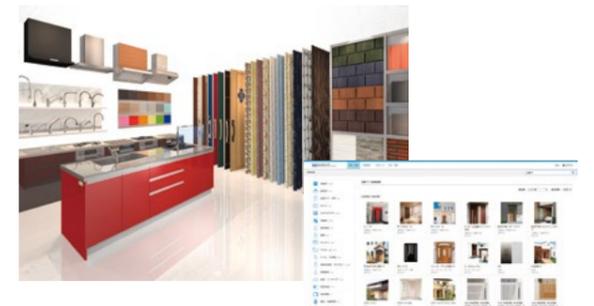
※「ARCHI Box」は別途ご契約が必要な有償のサービスです。

作成したパースや図面データをドラッグ&ドロップで簡単にクラウドへアップロードでき、いつでもどこからでもデータ参照可能。パソコンはもちろん専用のアプリを使いiPadなどを使ったプレゼンも容易に行えます。



■建材・設備の3Dカタログサイトとの連携「3Dカタログ.com」

200社、5300シリーズ*の製品が一堂に揃った複合型WEBショールーム「3Dカタログ.com」でシミュレーションした建材・設備データがGLOOBEと連携。実際の設計に連動させることができます。
※2020年11月現在



建材・設備と住まいの3Dシミュレーションサイト

3Dカタログ.com www.3cata.com

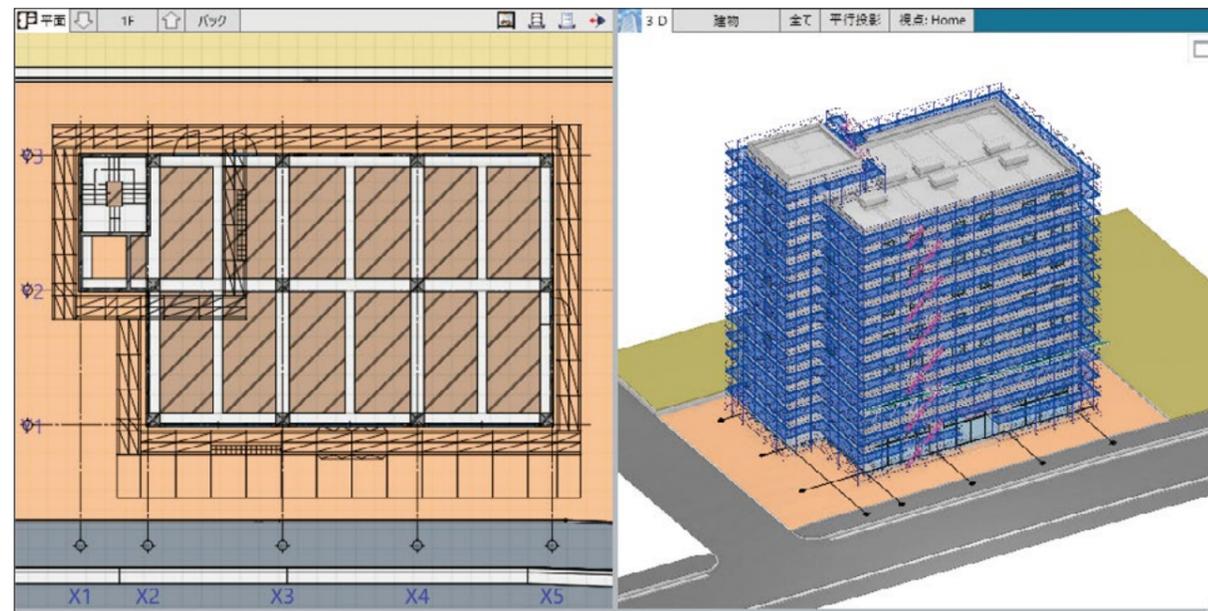
NEW 仮設計画

最小マウスクリックでの編集、リアルな3D表現で仮設足場・仮囲いの安全で効率的な配置計画を短時間に漏れなく行うことができます。

■くさび緊結式足場（次世代足場）の配置計画・シミュレーション

インチ系H1800・H1900／メートル系H1800・H1900のくさび緊結式足場を配置することができます。1点方向、連続線で、基本となる支柱・腕木・布材・踏板・先行手摺・幅木・ジャッキベースを入力することができます。

連続線入力では、建物からの離れを最適に処理し、コーナー部分も自動的に処理されます。



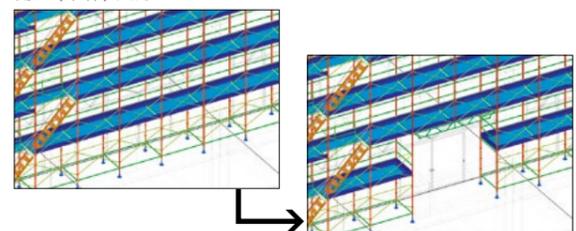
■各種部材入力

足場編集において、基本部材（支柱・布材・踏板・先行手摺など）の追加入力及び副部材（ブラケット・壁つなぎ・アサガオ・シート）の入力が可能です。

また、開口（梁柱）、階段（+階段手摺・階段開口部手摺）、張り出しブラケット（+支柱・腕木・先行手摺・幅木）なども1クリックで複合入力することができます。



開口（梁柱）入力



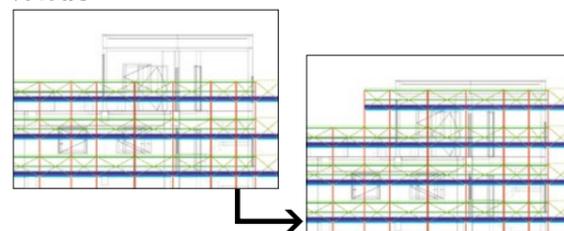
■編集機能

接合編集においてはコーナー部分の処理を、高さ合わせではベントハウスなどの足場の高さを簡単に調整することができます。

また、スパンの変更で部分的にスパンサイズを調整したり、高さ変更で部分的に層の増減を行ったり、列変更でステージなどの作成も簡単に行えます。

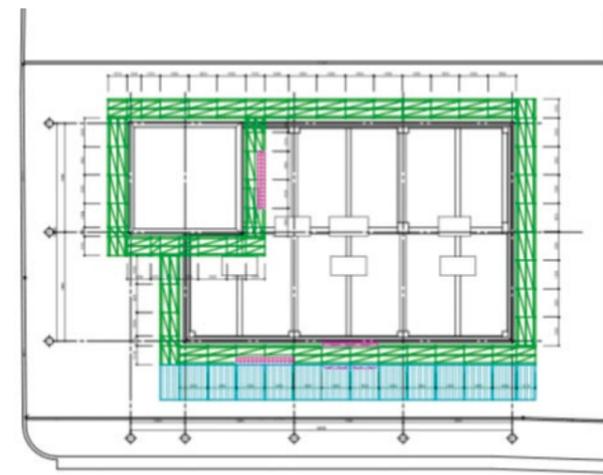


高さ変更

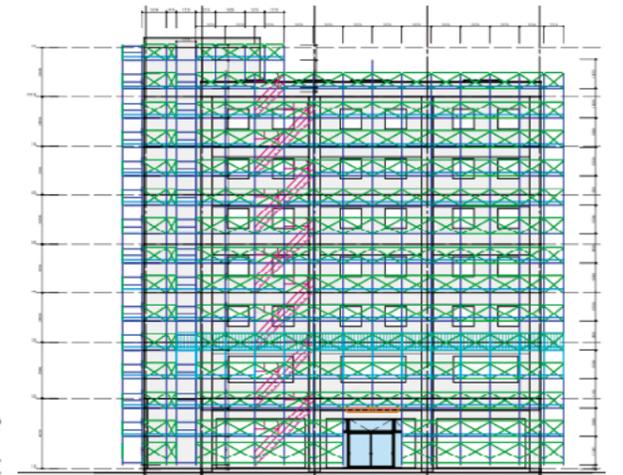


■図面出力

平面図及び立面図の出力が可能で必要な寸法線が自動出力され、労働基準監督署への足場設置届や鷹職への指示書として使用することができます。カラー印刷も可能なのでよりわかりやすい図面の出力が可能です。



平面図



立面図

■概算数量集計

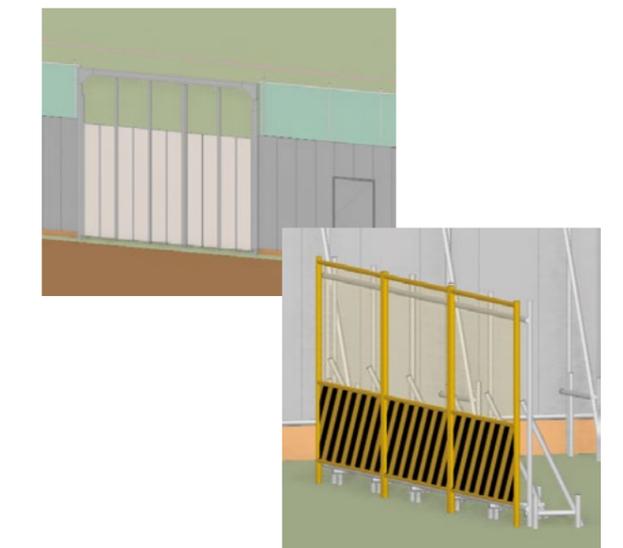
配置した仮設部材の数量を各部材毎に集計することができます。自動集計された数量はExcelに出力でき、積算・見積に2次利用可能です。

名称	品番	個所数
ジャッキベース		
ジャッキベース 400		136
下部支柱		
下部支柱 2700		136
支柱		
支柱 3600		696
支柱 1800		46
先行手摺		
先行手摺 1829		502
先行手摺 1219		111
先行手摺 1524		72
先行手摺 914		17
先行手摺 610		44
腕木・布材		

■仮囲い、ゲート、仮設フェンス

仮囲いはシートタイプ・パネルタイプ・上部シートタイプに対応しており、控え単管パイプの割付も柔軟に設定できます。

ゲート・仮設フェンスは3Dカタログより多様な形状を選択して入力することができます。

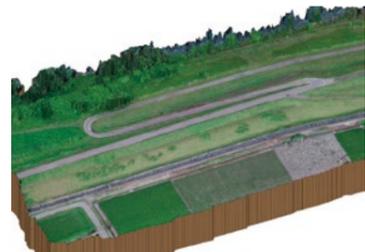


NEW 土工計画

現場や建物に応じて、より合理的で効率的な土工の施工計画を行う事ができます。
計画結果は施工工程を工事関係者で共有したり、ICT施工機器に連動するなど幅広く活用できます。



「現況地形」コマンドによる入力だけでなく、TREND-POINT*の点群地形データを読み込むことが可能です。
TREND-POINTデータにより現況地形のイメージ共有だけでなくより正確な土量計算を行うことができます。

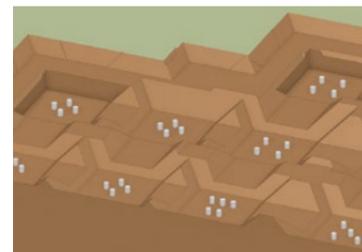


※福井コンピュータ社製の3D点群処理システム

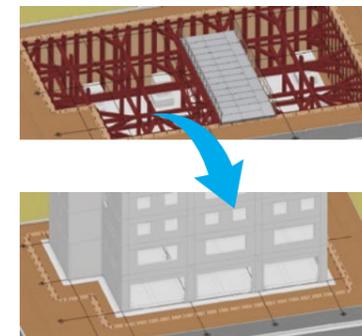
現況地形と整地の切土・盛土をリアルタイムに表示し無駄無く効率のよい整地高さの検討ができます。
また、高低差のある敷地では法面が設定でき、ひな壇状の整地も可能です。



建物躯体のデータがあれば躯体を参照して自動掘削処理が可能です。
また、掘削土量もリアルタイムに表示し、効率よく掘削形状を検討することができます。



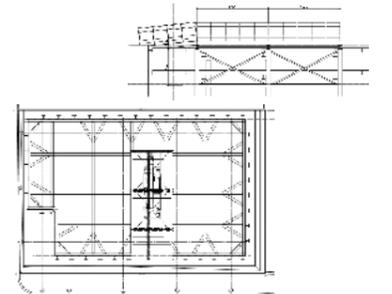
建物モデルが読み込まれていれば建物空間を除外した埋め戻し状態を立体で表示する事ができ、埋め戻し体積も自動計算できます。



土工に使用される山留壁や山留支保工・構台部材及び土量の自動集計ができます。
自動集計された数量はExcelに出力でき、積算・見積に2次利用可能で、土工の見積りや資材発注を素早く行うことができます。

項目	数量	単位	備考
山留壁	100	m	
山留支保工	200	m	
構台	50	m	
切土	3075.43	m ³	
盛土	99.98	m ³	
掘削	40077.96	m ³	

検討された土工モデルから・土工計画図・土工計画断面図・構台伏図・構台立面図を自動作成することができます。作成した図面は労働安全衛生法第88条第4項に基づく計画の届出の添付書類に活用可能です。

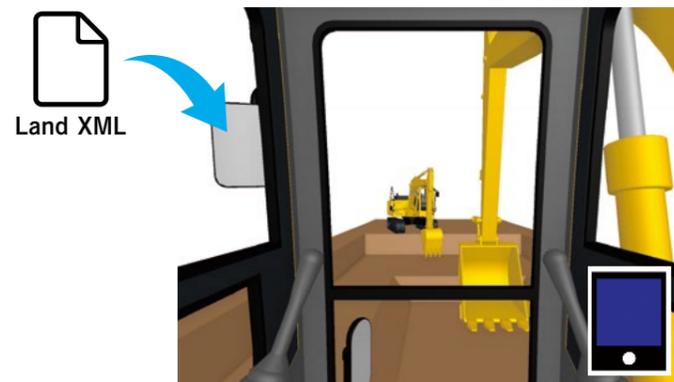


リアルタイム土量計算

現況地形から整地時の切土・盛土体積、さらに掘削時の掘削体積がリアルタイムに表示され、土量を意識しながらより最適な整地レベル、掘削形状を検討することができます。

整地土量	
切土体積	3075.43 m ³
盛土体積	99.98 m ³

掘削土量	
掘削体積	40077.96 m ³



ICT 施工

整地あるいは掘削のモデル情報の他社CADでの利用や、ICT施工機器への連動により自動整地や掘削を可能にします。次世代施工を支援します。

工程表示

土工の各工程の状態を関係者で共有できるように工程表示切替ボタンを設けました。これにより表示状態を素早く切り替え効率よく関係者との打ち合わせを行うことができます。



土工レベル

一次掘削・二次掘削と言った様にそれぞれの掘削・支保工レベルを設計の躯体を参照しながら検討し、設定できます。
設定されたレベルはデータ入力時参照できだけでなく、概算数量でレベル毎に数量集計することができます。

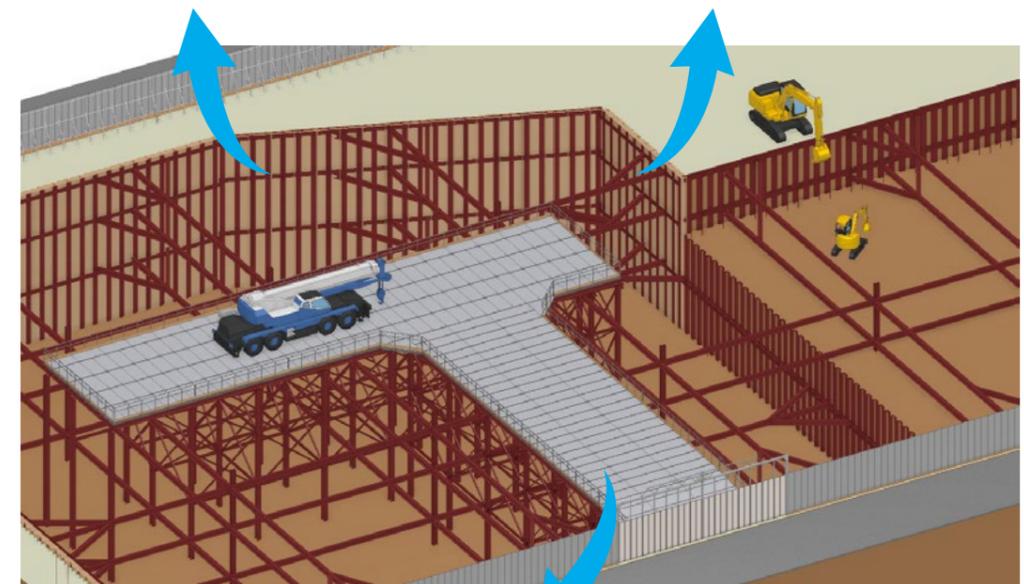


山留壁

シートパイル、親杭横矢板、SMWの山留壁工法に対応し、コーナー部取り合いもワンクリックで処理することができます。

山留支保工

「山留支保工」コマンドで腹起しを、「山留支保工編集」で腹起し・切梁・火打・切梁支柱を、躯体データがあれば躯体との干渉も確認しながら素早く入力できます。



構台

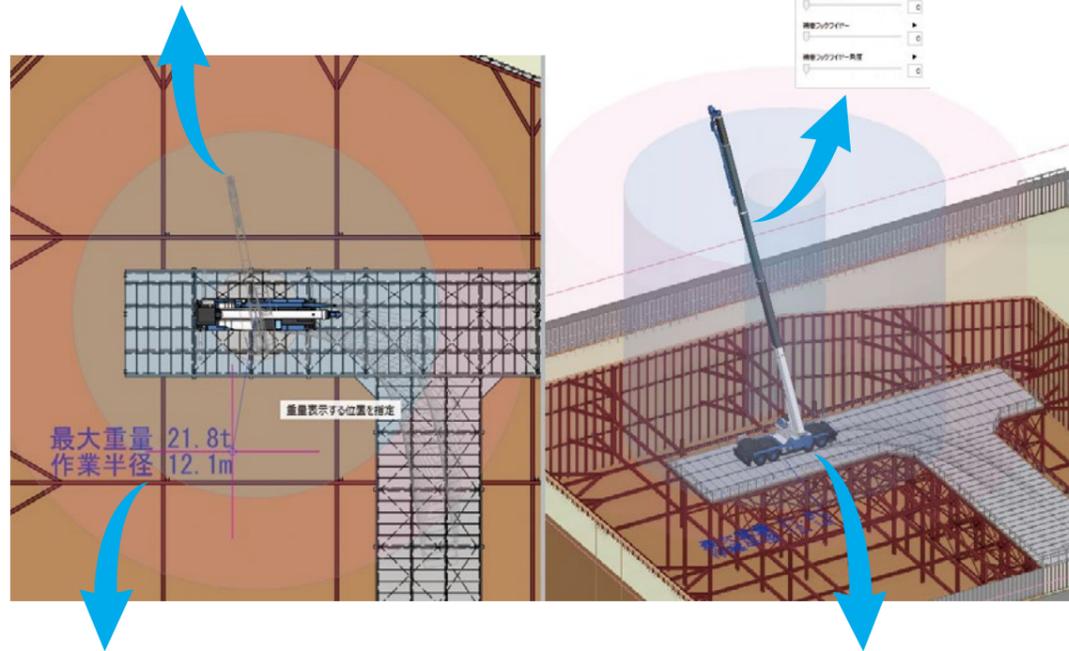
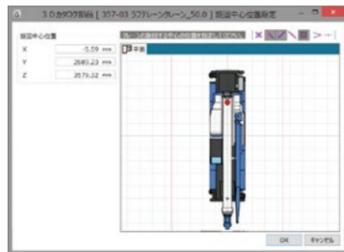
入力設定により構台を構成する各部材を自動配置。自動配置した構台の構成部材を建物躯体や山留支保工との干渉を確認しながら構台の詳細設計を行うことができます。

NEW 重機配置計画

NEW 建設機材部品・施工4D

■クレーン・ショベル可動範囲

クレーン・ショベルのアームの可動領域を可動中心・範囲の設定により平面及び立体で確認でき、最も効率の良い配置位置を検討することができます。



■クレーン吊り重量

定格総荷重表Excelデータ読み込みにより、マウス位置の吊り可能重量を表示します。また、希望吊り重力の設定によりその重量の吊れる範囲を色分けして表示することができます。



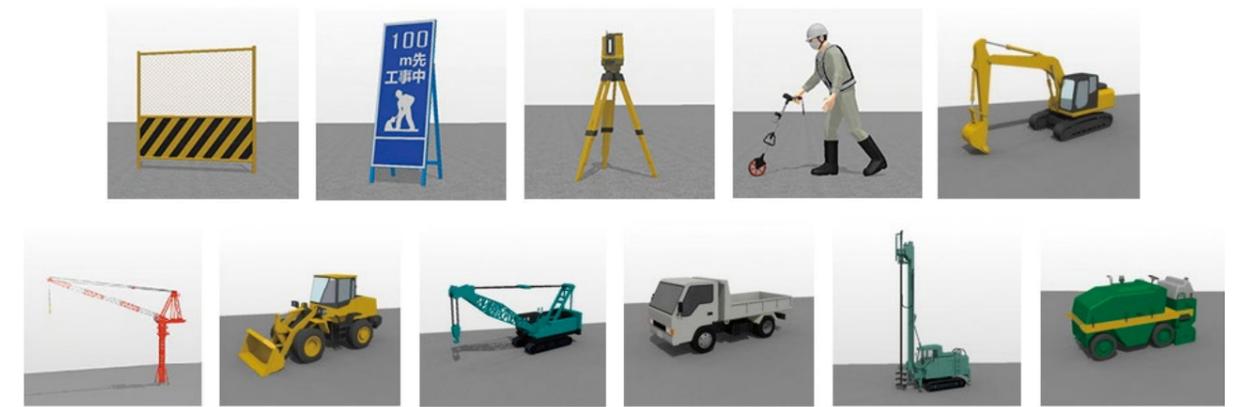
■3D可動シミュレーション

重機車両部品は可動情報を持ちアームやブームの伸縮状態を立体で確認することができます。



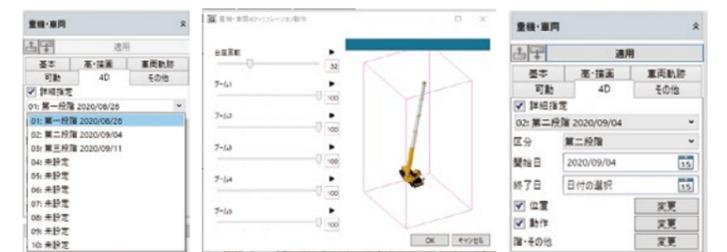
■建設機材部品

3Dカタログ.comに新しく“建設関連”の選択カテゴリを設け、建設施工で使われる工事機材や重機・車両 約1000点を用意しました。建設機材の配置計画を立体で確認しながら検討するとともに工事関係者の情報共有を容易にします。



■施工4Dシミュレーション

工事地盤では時間軸で現況-整地-掘削-埋戻しを、重機車両では時間軸で複数の位置・動作が設定でき、時間経過による施工予定状態や施工手順をアニメーションで確認でき、工事進捗状態のチェックや関係者の情報共有を促進します。



■J-BIM 施工図CAD → GLOOBE Construction 連携

J-BIM 施工図CADのデータをGLOOBE Constructionへ専用コマンドでダイレクトに連携することができ、J-BIM 施工図CADのデータを有効活用できます。



J-BIM 施工図CAD
Japanese Building Information Modeling CAD System

GLOOBE Construction

データ連携

GLOOBEで実現するJ-BIMソリューションネットワーク

GLOOBEは建築に関わる幅広い異業種とのコラボレーションの実現を目指しています。

IFCファイル*1などの連携によって、従来慣れ親しんだソフトウェアを活用しながら並行運用で効率的な設計環境を構築できます。

FM*2プラットフォームの各ソフトとも連携。このBIM-FMの活用で、設計・施工・維持管理のトータルマネジメントを実現します。

■GLOOBEシリーズとJ-BIM/CIMソリューションネットワークマップ



ソフト名・社名	連携概要
TP-PLANNER 株式会社コミュニケーションシステム	「TP-PLANNER」で作成した企画設計3DモデルデータをIFC経由で取込み可能です。連携の実現で、企画設計から、意匠・実施設計、プレゼンテーションまでの一連の業務を効率良く行えます。業界で初めて建具の配置位置やサイズ、種別の連携に対応し、飛躍的な業務省力化を実現しました。
SIRCAD 株式会社ソフトウェアセンター	「SIRCAD」からST-Bridge*3の連携により各種一貫構造計算データの躯体や開口などの情報をGLOOBEの意匠データとして利用できるため、設計業務の省力化が図れます。また「SIRCAD」は構造図を作成できることから取込データには小梁や部材の寄り情報も付加され、精度の高い連携を実現しました。
BUS・SNAP 株式会社システム	「BUS・SNAP」構造解析ソフトからST-Bridgeの出力が可能で計算結果のデータがそのままGLOOBEに連携します。初期段階の検討データからプロジェクト途中の変更データを構造のみ入れ替えも可能になります。GLOOBE (ST-Bridge)→「BUS-6」のインポートも可能です。
Super Build/SS3 ユニオンシステム株式会社	「Super Build/SS3」から一貫構造計算データをSIRCAD経由で連携できます。またコンバーターを使うことによりST-Bridgeに変換可能でSS3のデータをそのままGLOOBEに連携することも可能です。これにより初期の仮定断面を設計反映し効率の良い設計が可能になります。2016年発売された「Super Build/SS7」は多様な建物形状のモデル化が可能で設計シミュレーションの省力化も実現しております。
CostNavi Pro 建築ソフト株式会社	「CostNavi Pro」との連携により企画段階で作成した単線プランなどのGLOOBEデータから積算が可能。特に初期検討時の概概算などに適しています。
HEAIOΣ (ヘリオス) 株式会社サーベイ	「HEAIOΣ」とIFC連携が可能。GLOOBEから、IFC経由で建築概算数量の算出はもとより、建築数量積算基準に基づく実施詳細積算まで一連のデータがシームレスに連動。積算精度の向上と大幅な業務効率化が図れます。
AccessDB (MDB)	モデルデータを積算用データベース (MDB) に出すことができます。建具に使われているガラスを一枚づつMDBに出し内装建具・外装建具の自動判別でのMDB出力など入力者が難しい内容を考慮せずモデルを作成することで概算積算利用可能なMDBを作成することができます。このMDBをAccessで利用したり自社の積算システムに取り込むように加工したりと2次利用が期待できます。※別途Microsoft Accessが必要。 ※積算ソフトなどに取り込むには別途加工が必要になる場合があります。
SAVE-建築/SAVE-住宅 HOUS-省エネ 株式会社ポット	省エネルギー計算ソフトとIFC連携が可能です。GLOOBEのスペース情報をペリメーターゾーンとして活用できるため、再モデリングが不要となりシームレスに建築物の省エネルギー計算 (PAL*(パルスター)、一次エネ、BELS、ZEBの判定) が行えます。連携の実現で、建物の基本プラン段階から省エネを考慮した設計が可能です。
WindPerfectDX 株式会社シミュレーション	「WindPerfectDX」、「FlowDesigner」の各熱流体解析ソフトとの連携が可能です。GLOOBEデータを活用して、「見える」環境シミュレーションが行えます。

*1 IFCファイル: 建設業界の各種ソフトウェア・アプリケーション間のデータ共有化と、その相互運用を可能にするため、buildingSMART (旧IAI) によって定義されたファイル形式。
*2 FM: ファシリティー・マネジメント (Facility management, またはFacilities Management) の略称。企業・団体などが組織活動のために施設とその環境を総合的に企画・管理・活用する経営活動。
*3 ST-Bridge: buildingSMART Japan 構造設計小委員会にて構造データ受け渡し形式として策定されている情報交換のための標準フォーマット。
*4 設備IFCデータ利用標準: buildingSMART Japan 設備環境小委員会にて設備データ受け渡し形式として策定されている情報交換のための標準フォーマット。

ソフト名・社名	連携概要
CADDWe II Tfas CADDWe II Linx 株式会社テック	設備IFCデータ利用標準**に準拠。データ取込み時に設備部材の自動分類が可能に。必要なデータのみをコンパイルして、建築CAD/設備CAD間で建物モデルを連携することで建築躯体データを再入力する手間が省け、3次元総合図による建物の完成イメージを共有できます。
TREND-CORE/TREND-POINT CIMPHONY Plus 福井コンピュータ株式会社	BIM/CIMの普段使いをサポートし、IFC連携で建物モデル (BIMデータ) を建築構造物として取り込むことができます。現況データとしてドローンやレーザースキャナーで取得した現況点群に対し計画モデルを配置することで、発注者や協力会社との打ち合わせ時に完成イメージを共有でき既設の構造物等との干渉確認や計測が可能。
J-BIM施工図CAD 福井コンピュータアーキテクト株式会社	GLOOBEで作成した建物モデルの躯体は、当社のBIM対応施工図作成システム「J-BIM施工図CAD」に連携可能です。意匠設計～施工図作成～積算の一連の流れの効率化が図れます。フカシ・増し打ちも連携します。
FM-Refine/FINE-WEBS FM-Integration 株式会社システム	FM-Refineとの連携によりGLOOBEデータを活用し中長期修繕計画のシミュレーションが行えます。さらにFINE-WEBSに連携することで施設台帳管理が行え点検など幅広い活用が可能となります。今後もFM連携は増えていく予定です。 ※FM連携には、株式会社システムの「FM-Refine・FINE-WEBS・FM-Integration」とGLOOBEオプションプログラム「FM連携」が必要です。

GLOOBE 確認申請支援ツール

確認申請用の図面作成を効率化できるツール (テンプレート) をご用意しました。無料でご利用いただけます。是非ホームページよりダウンロードして業務にお役立てください。

GLOOBE

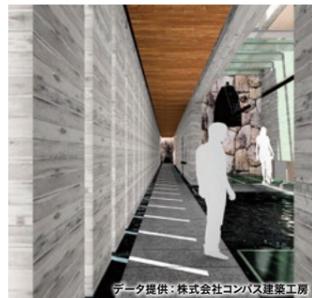
GLOOBE CG SAMPLE



データ提供: スミリアライフ株式会社



データ提供: 株式会社鴻池組



データ提供: 株式会社コンパス建築工房



データ提供: 株式会社鴻池組



データ提供: 加和太建設株式会社



データ提供: 共立建設株式会社



データ提供: 株式会社コンパス建築工房



データ提供: 株式会社奥村組



データ提供: 設営建築事務所株式会社

夢を最初にデザインします

人々の夢に貢献することが、私たち福井コンピュータグループの夢。
10年、20年先の夢をかたちにするために
私たちはまず、夢の設計(デザイン)から始めます。

技術開発センタービル「ウィン・ラボラトリ」

【会社概要】

福井コンピュータホールディングス株式会社【東証一部上場】

本 社	福井県福井市高木中央1-2501	グループ子会社(4社)	福井コンピュータアーキテクト株式会社(建築CADソフトウェア事業)
ウイ・ラボリ	福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6		福井コンピュータ株式会社(測量土木CADソフトウェア事業)
代 表 者	代表取締役社長 林 治克		福井コンピュータスマート株式会社(カスタマサポートサービス事業)
設 立	1979年12月17日		福井コンピュータシステム株式会社(建築CADソフトウェア事業)
資 本 金	16億3,170万円		
従業員数	531名(グループ合計正社員/2020年4月現在)		
事業内容	子会社の運営管理など		

福井コンピュータアーキテクト株式会社

ハウスメーカーや工務店、建築設計事務所など、戸建住宅の設計に特化した3次元CADシステムや、ビルなどの大規模建築物の設計を支援する国産BIM対応CADシステムなどを主に建築CADシステムの開発・販売を行っており、国内におけるCADシステムの納入実績は約41,000社におよび、国産の建築CADではトップシェアを誇っており、建築業界の3次元化に向けて取組みを行っております。

本 社	福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6
東京本部	東京都中央区築地 5-6-4 浜離宮三井ビルディング 6F
代 表 者	代表取締役社長 佐藤 浩一



- 本社 [福井]
- 東京本部
- 北日本営業所 [仙台]
 - 札幌オフィス ● 盛岡オフィス
- 北関東営業所 [さいたま]
 - 水戸オフィス ● 新潟オフィス ● 長野オフィス ● 宇都宮オフィス ● 高崎オフィス
- 関東営業所 [川崎]
 - 東京オフィス ● 千葉オフィス
- 中部営業所 [名古屋]
 - 岐阜オフィス ● 静岡オフィス ● 福井オフィス
- 関西営業所 [大阪]
 - 京都オフィス ● 神戸オフィス
- 中四国営業所 [広島]
 - 岡山オフィス ● 高松オフィス ● 松山オフィス
- 九州営業所 [福岡]
 - 熊本オフィス ● 大分オフィス ● 宮崎オフィス ● 鹿児島オフィス ● 沖縄オフィス

北海道から沖縄まで全国31か所の営業拠点と47都道府県専任の担当者を配置し、常にお客様の近くできめ細かいサポートを行っています。

【福井コンピュータアーキテクトCAD製品導入実績】 建築CADを発売以来、ユーザー様は毎年増え続け、今も北は北海道から南は沖縄まで、その輪を広げています。

ARCHITREND シリーズ
J-BIMシリーズ
この導入数が
安心と信頼の証です

導入社数 **41,000社**
導入本数 **74,000本**

【福井コンピュータアーキテクトCAD製品導入実績 2019年10月現在】

全国各都道府県 地場TOP10ビルダー様の75%以上が利用

■ 上位10社中、8~10社が導入
■ 上位10社中、5~7社が導入

※ 調査住宅産業研究所「住宅市場ハンドブック2016」を元にした自社調べ



全国300以上の公共・教育機関で採用

CAD実習の教材として、工業高校や専門学校などで高い導入率を誇り、その使いやすさから学習意欲の向上に効果が期待されています。



公共機関でのCAD講座